

## 先人の執念に学ぼう！

—— 受験生の夏がやってきた ——



今年、「解体新書」を翻訳した杉田玄白の没後200年に当たると聞きました。彼は、江戸後期の蘭学医でしたが、自身の回想録である『蘭学事始』にはオランダの人体解剖書「ターヘルアナトミア」の翻訳に取り組んだ苦労話が克明に述べられています。彼は当初アルファベットすらも知らなかったそうですが、江戸の刑場で処刑された罪人の人体解剖を視察して「ターヘルアナトミア」の図譜がいかにも正確であるか改めて驚いたといいます。そして日本の近代医学の為にはこの書の翻訳は是非とも急がねばならない事業だと考えました。早速その作業に取りかかってみたものの、その翻訳は難解を極め遅々として進みませんでした。来る日も来る日も見知らぬ言語と格闘し、やっと解釈できた一行が「眉毛トハ目ノ上ニ生ジタ毛ナリ」などだったといひます。

4年の歳月を費やし、11回の書き直しを経て1774年ついに翻訳書「解体新書」が完成しました。この年は近代医学の黎明を告げる記念すべき年でした。学問上の輝く成果は、いつの世も涙ぐましいほどの努力と苦労の果てに現れるものなのでしょう。

学問に没頭した先人の努力を鑑みて、61期生の皆さんも、この夏、勉強で真剣に苦労してみませんか。”夏を制する者受験を制す”などと言うと、プレッシャーが掛かりすぎるかもしれませんが、授業のないこの1ヶ月だからこそできることは色々あります。基礎固めや弱点克服を目標に、是非、有意義な夏休みを過ごして下さい。夏休みを生かすも殺すもあなた次第！

そして今号は、特集として「夏に頑張る君たちへのエール」を担当の先生方に書いてもらいました。次ページからじっくりと読んで下さい。

## 夏休み進学講習

参加者数

科目	人数
数学ⅠA	18
数学ⅠⅡA	11
現代文	54
古典	28
英語	77
日本史	19
世界史	3
物理	6

## 当面の日程



7/24(月) 進学講習

～8/4(金)

8/12(土)・13(金) 河合塾全統マーク模試

8/18(金) 就職校内選考

**8/21(月) 3年補充授業開始 木6月246授業**

(8:30 教室点呼、学年集会で頭髮チェック有り)



8/23(水) 1限 始業の会 木6水56

8/24(木) 実力テスト

8/28(月)・29(火) 追認考査

9/2(土) 文化祭

## 文化祭出し物



文化祭も盛り上げよう！

- 1組 模擬店「川高神社の縁日」
- 2組 劇「山月記 3-2 ver.」
- 3組 模擬店「スタンプラリー」
- 4組 模擬店「カフェ・駄菓子」
- 5組 模擬店「魔法使いとお菓子釣り」
- 6組 劇「モンスターズ・ウィンク」
- 7組 歌「LA・LA・ランド」
- 8組 イベント「vs ∞」

# 夏に頑張る君たちへのエール！



## ●中嶋 咲絵先生(1組担任)

もし人生で一度だけ過去に行けるなら、高校3年生の夏の自分に、「学校に行って自習しなさい！」と言いたいです。

部活に明け暮れていた私は、引退して実に5年ぶりに何もない夏休みを迎えました。当然勉強しなければならぬわけですが、家には誘惑が多かった。部活があった頃は出来なかった、テレビ・ゲーム・漫画（当時スマホはまだありませんでした）という受験の敵にまんまとひっかかり、集中して勉強する癖が全くつかないまま、夏休みが終わってしまいました。この自堕落な状態を延々引きずった気がします。「家にいると楽」と思ってしまっただけですね。こんな受験生の末路は、志望校に全く合格せず、浪人し、結局しんどい思いをする期間が増えたという残念なものでした。

せつかく1学期、毎日学校に来ていたわけですから、その延長だと思って、学校の自習室で勉強することをおすすめします。誘惑を自分で断ち切るのは難しい。後悔しない夏休みにしてください。

## ●中曾 美砂代先生(2組担任)

みんなが入学してきて、あっという間に卒業まで後8ヶ月を残すのみ。

もう高校生活のすべてに「最後の」という言葉がつくようになりました。

「最後の遠足」「最後の体育祭」はもう過ぎ、次は「最後の夏休み」、「最後の文化祭」です。

今までも、例えば、同じ一日や同じ「遠足」というのは、絶対になかったはずだし、同じに見えて、微妙に違うところがあったはずだけど、「最後の」ということばがつく物にはとんでもない価値があります。

それは二度と経験できない物だからです。

今はつまらないと思っているだろう、毎日の授業や掃除も「最後の」がつくとキラキラと輝いて見えます。

みんなはそのかけがえのない「最後の」夏休みを迎えようとしています。

思い切り遊ぶのもいいけど、進路を決める大事な夏です。



受験しようとしている人、就職しようとしている人はこの夏にどれだけ力をつけていけるかに自分の未来がかかっています。

もう進路が決まった人は進路先に進むための準備を初めておいた方が不安がなくなります。

みんな、それぞれの「高校生『最後の』夏」をしっかり堪能してください。

## ●中村 宏一先生(3組担任)

初めての、また最初で最後の高校3年の夏休みを迎える皆さんへ。

自分のことは好きですか？自分に誇りを持っていますか？

今あなたは、何を思って日々を過ごしていますか？

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」

という、心理学者のウィリアム・ジェームズの有名な言葉があります。

あのマザーテレサもこう言っています。

「言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから」

大きな成果は小さな行動の積み重ねによって決まります。

ほんの少しずつでも良いんです。

毎日少しだけ頑張る1.01倍と、毎日少しずつ手を抜く0.99倍では、最初はたったの0.02しか変わりませんが、それが一年経てば、1.01の365乗で37.8に、逆に0.99の365乗では0.03になってしまいます。

自分の運命を変えたいのなら、まず言葉を変えること。

積極的な言葉、前向きな言葉、未来のある言葉、明るい言葉、感謝の言葉…。

すると行動も変わってきます。

行動が変われば習慣が変わり、習慣が変われば性格(人格)が変わる。

そして、人格が変われば、運命が変わるのです。

運命や人生を変えたかったら、まず想いの強さを決める「心」を変えなければいけません。



改めて問い掛けます。これからあなたは、何を想って日々を過ごしていきますか？

### ●睦好 倫子先生(4組担任)

ずいぶん前に担任していた生徒の話をして。気が強くて、賢くて、負けず嫌い。運動部の活動も勉強も全力投球。成績もいつも抜群で、入試に向けて着々と実力を伸ばしていました。ところが入試は水モノ。なぜだか分からないけど、ボタンを掛け違えたみたいに、志望校の入試に次々と落ちてしまったのです。通ったのは一校だけ(それも難関ではあったのですが)。

「どうする？浪人してもう一年頑張る？」という質問に、彼女が返してきたメールは、

「浪人はしない。〇〇大学行く。私はこの一年、一生懸命受験勉強したから、悔いなし！」

というものでした。ああ、すごいな。こんなふう言い切れるほど、勉強したんだ。もうほんとに悔いはないと言いきれるくらい、やり切ったんだ。私は彼女の判断をさすががしいと思いました。

みなさんにも、数ヵ月後、「未練はない。私は死力を尽くして受験勉強をした」と言えるようになってほしいと思います。

まずは夏。この夏の頑張りが、秋からの受験勉強本番を支えます。

あ、それと毎日太陽は浴びましょうね。



### ●佐柳 進典先生(5組担任)

暑いですね。でも、半年後はどうでしょうか？。白い息を吐きながら、卒業に向かっての、あわただしい毎日の中…。

早いですね。皆さんが川高生になってから、もう卒業を思い描けるところまで来てしまいました。今日までの自分の高校生活に、みたされる気持ちはありますか？。

楽しみですね。来年の夏、どこで、何をしているのか。そんなふうに見える毎日を、残りの川高生活で送るため、皆さんのそれぞれの夏がこの上ない時間になりますように。みたされた毎日で、笑顔がこぼれる2学期を迎えましょう。



## ●長谷川 清香先生(6組担任)

この夏休みは、計画を立て能動的に過ごしてください。

まずは夏休みに完成させることを具体的に（英単語…個を覚える、とか、問題集を1周終わられるなど）考え、それを一週間ごとに割り振ります。一週間の到達目安ができれば、それを一日ずつ割り振りましょう。軽めの日があってもいいです。その分は他の日で補い、基本的に1週間単位で着実に到達させていってください。決して、「講習に参加」を到達目標にしてはいけません。大切なのは講習に参加することではなく、自分から学習し、到達させる姿勢なのです。

私が現役だったときは、ただひたすら塾に通って勉強をしていました。しかし結局それは塾で与えられた課題を予・復習してただけで、本当に自分から学習する姿勢を確立できてはいませんでした。高校3年の私は、計画性のないただの受動的な学習者に過ぎなかったのです。受身であるうちは、能力が伸びません。サボりたいという欲求が強くなり、適当に過ごした日もありました。

受験は自分との勝負です。「自分のサボり欲求に負けず、真に実のある日々を過ごした」と言える「攻める」夏休みを皆さんが送ってくれることを切に祈ります。



## ●上野 皓平先生(7組担任)

学生のころの私は今よりもだいぶ痩せていて、もう少し熱い人間だったように思います。そう思うのも、当時の自分はたった1回の学生生活・人生を後悔しないようにだけを考え、毎日を全力で過ごしていたからです。

後悔とは誰もが少なからず経験すること。その恐ろしい所は、当然のことですが、今は実感することができないということです。今の自分にできることとしたら、将来できるだけ後悔ないように、行動（予防）をすることぐらい。人は結果に対して後悔するのではなく、行動（それまでの過程）に対して後悔します。「あのとき、こうしとけばよかった…」と。逆に言い返せば、全力を尽くせば、それがたとえ自分の望まない結果だったとしても、後悔は減ります。もしくは「自分はここまで頑張った！」というある種の満足感を味わうことができるかもしれません。後悔することを、はなから望んでいる人はいないと思います。自分の人生、満足するか後悔するかどうかは、今の自分次第です。特に夏休み、どのように過ごすかでその後の結果に大きく影響してくると思います。毎日、自分自身ができること100%出し切って、充実した日々を過ごしてほしいと願います！

そんな高校時代の上野の勉強目標と方法（参考程度に）

{ 休日→10時間

{ 平日→5時間

{ 部活ある日→3時間 は勉強時間確保

・まず勉強できる、集中できる環境を作る（スマホなど誘惑要素を自ら排除、そういう場所に身を投じる）

・勉強、休憩ともにだらだら長時間せず、効率よく短時間集中（体が慣れている50分勉強、10分休憩のサイクルが最初はおススメ）

・細かい目標設定（まず1時間集中、3日以内にこの問題集終わらす、など）→細かい目標達成することで達成感、少しでも楽しさを見出す

・勉強の効率を上げるために、息抜きも必要（日曜日の昼からだけめっちゃ遊ぶ、それ以外はひたすら勉強、など）



大切なのはメリハリと自分自身をコントロールすること！！

●池田 延孝先生(8組担任)

3年生の夏休みは今後の人生70年を左右する大切な時期です。

やりたい事は全て封印！ 食事睡眠以外は全て勉強につき込め！ 睡眠は4時間以内！

バイトするなら進学はあきらめろ！ 今何をしなければいけないか考えろ！

中途半端に勉強はするな！ 徹底して勉強しろ！

今頑張らなくていつ頑張る？

入れる大学を選ぶな！ 妥協をするな！ 入りたい大学を目指して頑張れ！

入りたい大学に実力が足りない場合は一浪でもいいじゃないか！ チャンスは今年だけじゃない！

やらないで後悔することはあるが、やって後悔することはない！

やれるだけやれ！ とことんやれ！



2017年度1学期評点 度数分布表

100-100	95-99	90-94	85-89	80-84	75-79	70-74	65-69	60-64	55-59	50-54	45-49	40-44	35-39	30-34	25-29	20-24	15-19	10-14	5-9	0-4	その他	合計	平均
1																					1	308	61.9
	1																				1	104	64.9
		1																			1	254	62.3
			1																		1	64	61.7
				1																		104	63.1
					2																	23	70.5
						7															1	206	64.7
							10															48	64.7
								2														80	63.9
									2													102	64.7
										1											1	96	65.0
																						14	68.0
																						14	65.6
																						81	64.9
																						14	64.1
																						22	64.9
																						35	65.7
																						18	65.7

